

船後靖彦のビッグバン!

ALS 講演会

『命ある限り道は拓かれる』

君にはあるか! 自由への道に行く勇氣
～人は僕に追い付けない～

株式会社 アース副社長
ALS 協会 千葉支部会員 (患者)

船後靖彦

日時: 11月29日(土) 12:30 ~ 14:30

場所: 立正大学品川キャンパス 11号館 1151教室

主催: 立正大学「現代における自由意志の問題」研究会
共催: 立正大学文学部哲学科

※事前申込み不要・入場無料 / お問い合わせ先: itpsl@ris.ac.jp / 担当: 文学部哲学科 田坂さつき
※この講演会は、科学研究費助成事業(科研費)の研究活動の一環です

RISSHO University



『自由意志』で生きることを選択した船後靖彦氏。
『障がい者と健常者が別け隔てなく暮らせる社会を創る』ことを志とする。
強みは「障がい者だから気づけるものがある。」



船後靖彦（ふなごやすひこ）

1957（昭和32）年生まれ。商社マンであった、41歳に全身の筋肉が急激に萎縮する難病であるALS（筋萎縮性側索硬化症）を発病。絶望の淵から這い上がり、人工呼吸器と胃ろうを装着。歯で噛むセンサーを使ってコンピュータを操作し、日常のコミュニケーションから執筆・創作活動、講演活動、大学の非常勤講師なども務める。2012年に訪問介護・介護サービスの株式会社アースの取締役役に就任。現在は、取締役副社長。サービス付き高齢者向け住宅サポテン六高台名誉施設長。利用当事者としての低減や職員教育に携わっている。

著書に『しあわせの王様』（小学館・共著）、『三つ子になった雲』（日本地域社会研究所）、『死ぬ意味と生きる意味』（上智大学出版・共著）など。

吉崎さとし（よしざきさとし）

”音楽の力で人が元気になり、笑顔の輪が広がっていくこと”をモットーに活動する、松戸出身のシンガーソングライター。現在歌うまつどの観光大使。船後さんとのユニット〈さとおや〉を結成。



[タイムスケジュール]

- 12:30 - はじめに
- 12:35 - 船後さんご講演
- 13:35 - 吉崎さとしさんのミニライブ
- 13:50 - 質疑応答
- 14:10 - 船後さんとお話・握手の時間

